

◎紛争の義務的解決に関する選択議定書

(略称) 紛争の義務的解決選択議定書

昭和三十六年四月十八日 ウィーンで作成
昭和三十九年四月二十四日 効力発生

昭和三十七年三月六日 署名の内閣決定

昭和三十七年三月二十八日 ニュー・ヨークの国際連合本部で署名
昭和三十九年五月八日 国会承認

昭和三十九年五月二十九日 批准の内閣決定

昭和三十九年六月八日 批准書寄託
昭和三十九年六月二十六日 公布及び効力発生の告示
(昭和三十九年条約第十五号)

昭和三十九年七月八日 効力発生

目次

ページ

前文	三二三
第一条 紛争の国際司法裁判所への付託	三二三
第二条 紛争の仲裁裁判所への付託	三二三
第三条 調停手続に関する合意及び調停委員会の勧告	三七四
第四条 国籍取得に関する選択議定書の解釈適用上の紛争に対する適用の宣言	三七四
第五条 署名	三七四
第六条 批准	三七五
第七条 加入	三七五
第八条 効力発生	三七五
第九条 国連事務総長による通報	三七五

紛争の義務的解決選択議定書

第十條	原文及び認証謄本	三七六
末文		三七六

紛争の義務的解決に関する選択議定書

この議定書及び千九百六十一年三月二日から同年四月十日日までウィーンで開催された国際連合の会議において採択された外交関係に関するウィーン条約（以下「条約」という。）の当事国は、

条約の解釈又は適用から生ずるあらゆる紛争を、自国に関するものである限り、他の解決方法が当事国により合理的な期間内に合意される場合を除くほか、国際司法裁判所の義務的管轄に付託する希望を有することを表明して、次のとおり協定した。

第一条

条約の解釈又は適用から生ずる紛争は、国際司法裁判所の義務的管轄の範囲内に属するものとし、したがって、これらの紛争は、この議定書の当事国である紛争のいずれかの当事国が行なう請求により、国際司法裁判所に付託することができる。

第二条

両当事国は、一方の当事国が、他方の当事国に対し、紛争が存在する旨の見解を通告した後二箇月の期間内に、その紛争を国際司法裁判所にではなく仲裁裁判所に付託することにつき合意することができる。前記の期間が経過した

紛争の義務的解決選択議定書

VIENNA CONVENTION ON DIPLOMATIC RELATIONS OPTIONAL PROTOCOL CONCERNING THE COMPULSORY SETTLEMENT OF DISPUTES

The States Parties to the present Protocol and to the Vienna Convention on Diplomatic Relations, hereinafter referred to as "the Convention", adopted by the United Nations Conference held at Vienna from 2 March to 14 April 1961,

Expressing their wish to resort in all matters concerning them in respect of any dispute arising out of the interpretation or application of the Convention to the compulsory jurisdiction of the International Court of Justice, unless some other form of settlement has been agreed upon by the parties within a reasonable period,

Have agreed as follows:

Article I

Disputes arising out of the interpretation or application of the Convention shall lie within the compulsory jurisdiction of the International Court of Justice and may accordingly be brought before the Court by an application made by any party to the dispute being a Party to the present Protocol.

Article II

The parties may agree, within a period of two months after one party has notified its opinion to the other that a dispute exists, to resort not to the International Court of Justice but to an arbitral tribunal. After the expiry of the said period, either party may bring the dispute before the Court by an application.

後は、いずれか一方の当事国は、請求により、当該紛争を国際司法裁判所に付託することができる。

第三条

調停手続
に同意する
合意及び
調停委員
会の勧告

1 両当事国は、第二条に規定する二箇月の期間内においては、国際司法裁判所に付託する前に調停手続を執ることにつき、合意することができる。

2 調停委員会は、その構成の後五箇月以内に勧告を行なわなければならない。勧告が行なわれた後二箇月以内に紛争の当事国がその勧告を受諾しない場合には、いずれか一方の当事国は、請求により、当該紛争を国際司法裁判所に付託することができる。

第四条

国籍取得
に関する
選択議定
書の解釈
適用上の
紛争に対
する宣言

条約、国籍の取得に関する選択議定書及びこの議定書の当事国は、国籍の取得に関する選択議定書の解釈又は適用から生ずる紛争についてこの議定書の規定を適用することを、いつでも、宣言することができる。その宣言は、国際連合事務総長に通告するものとする。

第五条

この議定書は、千九百六十一年十月三十一日までではオーストリア連邦外務省で、その後は千九百六十二年三月三十一日までニューヨークの国際連合本部で、条約の当事国

Article III

1. Within the same period of two months, the parties may agree to adopt a conciliation procedure before resorting to the International Court of Justice.

2. The conciliation commission shall make its recommendations within five months after its appointment. If its recommendations are not accepted by the parties to the dispute within two months after they have been delivered, either party may bring the dispute before the Court by an application.

Article IV

States Parties to the Convention, to the optional Protocol concerning Acquisition of Nationality, and to the present Protocol may at any time declare they they will extend the provisions of the present Protocol to disputes arising out of the interpretation or application of the Optional Protocol concerning Acquisition of Nationality. Such declarations shall be notified to the Secretary-General of the United Nations.

Article V

The present Protocol shall be open for signature by all States which may become Parties to the Convention, as follows: until 31 October 1961 at the Federal Ministry for Foreign Affairs of Austria and subsequently, until 31 March 1962, at the United Nations Headquarters in New York.

となるすべての国による署名のため開放しておく。

第六条

この議定書は、批准されなければならない。批准書は、国際連合事務総長に寄託されるものとする。

第七条

この議定書は、条約の当事国となるすべての国による加入のため開放しておく。加入書は、国際連合事務総長に寄託されるものとする。

第八条

1 この議定書は、条約の効力発生の日又はこの議定書の二番目の批准書若しくは加入書が国際連合事務総長に寄託された日から三十日目の日のいずれかおそい日に効力を生ずる。

2 1の規程に従つて効力を生じた後にこの議定書を批准し又はこれに加入する各国については、この議定書は、その国の批准書又は加入書の寄託の後三十日目の日に効力を生ずる。

第九条

国際連合事務総長は、条約の当事国となるすべての国に次の事項を通報するものとする。

紛争の義務的解決選択議定書

Article VI

The present Protocol is subject to ratification. The instruments of ratification shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations.

Article VII

The present Protocol shall remain open for accession by all States which may become Parties to the Convention. The instruments of accession shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations.

Article VIII

1. The present Protocol shall enter into force on the same day as the Convention or on the thirtieth day following the date of deposit of the second instrument of ratification or accession to the Protocol with the Secretary-General of the United Nations, whichever day is the later.

2. For each State ratifying or acceding to the present Protocol after its entry into force in accordance with paragraph 1 of this Article, the Protocol shall enter into force on the thirtieth day after deposit by such State of its instrument of ratification or accession.

Article IX

The Secretary-General of the United Nations shall inform all States which may become Parties to the Convention:

- (a) 第五条、第六条及び第七条の規定に従つて行なわれる
- (b) この議定書の署名及び批准書又は加入書の寄託
- (c) 第四条の規定に従つて行なわれる宣言
- (d) 第八条の規定に従つてこの議定書が効力を生ずる日

第十条

この議定書の原本は、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語による本文をひとしく正文とし、国際連合事務総長に寄託される。事務総長は、第五条に規定するすべての国にその認証謄本を送付するものとする。

以上の証拠として、下名の全権委員は、このためそれぞれの政府から正当に委任を受け、この議定書に署名した。

千九百六十一年四月十八日にウィーンで作成した。

アフガニスタンのために

アルバニアのために

アルゼンティンのために

オーストラリアのために

- (a) of signature to the present Protocol and of the deposit of instruments of ratification or accession, in accordance with Articles V, VI and VII;
- (b) of declarations made in accordance with Article IV of the present Protocol;
- (c) of the date on which the present Protocol will enter into force, in accordance with Article VIII.

Article X

The original of the present Protocol, of which the Chinese, English, French, Russian and Spanish texts are equally authentic, shall be deposited with the Secretary-General of the United Nations, who shall send certified copies thereof to all States referred to in Article V.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned Plenipotentiaries, being duly authorized thereto by their respective Governments, have signed the present Protocol.

DONE AT VIENNA, this eighteenth day of April one thousand nine hundred and sixty-one.

FOR AFGHANISTAN:

FOR ALBANIA:

FOR ARGENTINA:

FOR AUSTRALIA:

オーストリアのために

クライスキー

ベルギーのために

G・デルコワニユ

千九百六十一年十月二十三日

ボリヴィアのために

ブラジルのために

ブルガリアのために

ビルマのために

白ロシア・ソヴィエト社会主義共和国のために

カンボディアのために

カメルーンのために

カナダのために

中央アフリカ共和国のために

セイロンのために

紛争の義務的解決選択議定書

FOR AUSTRIA:

KREISKY

FOR BELGIUM:

G. DELCOUVE

Le 23 octobre 1961

FOR BOLIVIA:

FOR BRAZIL:

FOR BULGARIA:

FOR BURMA:

**FOR THE BYELORUSSIAN SOVIET SOCIALIST
REPUBLIC:**

FOR CAMBODIA:

FOR CAMEROON:

FOR CANADA:

FOR THE CENTRAL AFRICAN REPUBLIC:

FOR CEYLON:

チャードのために

チリのために

中国のために

胡慶育

陳岱礎

コロンビアのために

M・アクデロー・G

アントニオ・バヨーナ

コンゴ（ブラザヴィル）のために

コンゴ（レオポルドヴィル）のために

コスタ・リカのために

キューバのために

サイプラスのために

チェッコスロヴァキアのために

ダホメのために

FOR CHAD:

FOR CHILE:

FOR CHINA:

Hu Ching-yu

CHEN Tai-chu

FOR COLOMBIA:

M. Acudero G.

Antonio Bayona

FOR THE CONGO (BRAZZAVILLE):

FOR THE CONGO (LÉOPOLDVILLE):

FOR COSTA RICA:

FOR CUBA:

FOR CYPRUS:

FOR CZECHOSLOVAKIA:

FOR DAHOMEY:

デンマークのために

H・H・シュレーデル

ドミニカ共和国のために

エクアドルのために

N・M・ボンセ

エル・サルヴァドルのために

エティオピアのために

ドイツ連邦共和国のために

ウエルネル・ダークウオルト

マラヤ連邦のために

フィンランドのために

オットオ・ワルティオヴァーラ

千九百六十一年十月二十日

フランスのために

ガボンのために

ガーナのために

E・O・アサフ・アジェイ

E・コジョエ・ダジエ

紛争の義務的解決選択議定書

FOR DENMARK:

H. H. SCHRÖDER

FOR THE DOMINICAN REPUBLIC:

FOR ECUADOR:

N. M. PONCE

FOR EL SALVADOR:

FOR ETHIOPIA:

FOR THE FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY:

Werner DANKWORT

FOR THE FEDERATION OF MALAYA:

FOR FINLAND:

Otto WARTIOVAARA

Le 20 octobre 1961

FOR FRANCE:

FOR GABON:

FOR GHANA:

E. O. ASAFU-ADJAYE

F. Kodjoe DADZIE

ギリシャのために

グアテマラのために

ギニアのために

ハイティのために

ヴァチカンのために

ホンデュラスのために

ハンガリーのために

アイスランドのために

インドのために

インドネシアのために

イランのために

教授、ドクトル A・マティーネ＝ダフタリイ
千九百六十一年五月二十七日
イラクのために

FOR GREECE:

FOR GUATEMALA:

FOR GUINEA:

FOR HAITI:

FOR THE HOLY SEE:

FOR HONDURAS:

FOR HUNGARY:

FOR ICELAND:

FOR INDIA:

FOR INDONESIA:

FOR IRAN:

Prof. Dr A. MATINE-DATARY
27 mai 1961
FOR IRAQ:

アイルランドのために

T・J・ホラン

D・P・ウォールドロン

イスラエルのために

ジョセフ・リントン

政府の承認を条件として

イタリアのために

象牙海岸のために

日本国のために

ヨルダンのために

クウェイトのために

ラオスのために

レバノンのために

E・ドナト

リベリアのために

リビアのために

FOR IRELAND:

T. J. HORAN

D. P. WALDRON

FOR ISRAEL:

Joseph LINTON
ad referendum

FOR ITALY:

FOR THE IVORY COAST:

FOR JAPAN:

FOR JORDAN:

FOR KUWAIT:

FOR LAOS:

FOR LEBANON:

E. DONATO

FOR LIBERIA:

FOR LIBYA:

リヒテンシュタインのために

ハインリッヒ・プリンツ・フォン・リヒテンシ
ュタイン

ルクセンブルグのために

マダガスカルのために

マリのために

メキシコのために

モナコのために

モロッコのために

ネパールのために

オランダのために

ニュー・ジールランドのために

ニカラグアのために

ニジェールのために

FOR LIECHTENSTEIN:

Heinrich Prinz von LIECHTENSTEIN

FOR LUXEMBOURG:

FOR MADAGASCAR:

FOR MALI:

FOR MEXICO:

FOR MONACO:

FOR MOROCCO:

FOR NEPAL:

FOR THE NETHERLANDS:

FOR NEW ZEALAND:

FOR NICARAGUA:

FOR THE NIGER:

ナイジェリアのために

ノールウェーのために

エーギル・アムリー

パキスタンのために

パナマのために

パラグアイのために

ペルーのために

フィリピンのために

ロベルト・レガラ

千九百六十一年十月二十日

ポーランドのために

ポルトガルのために

大韓民国のために

ヴィエトナム共和国のために

ルーマニアのために

紛争の義務的解決選択議定書

FOR NIGERIA:

FOR NORWAY:

Egil Amli

FOR PAKISTAN:

FOR PANAMA:

FOR PARAGUAY:

FOR PERU:

FOR THE PHILIPPINES:

Roberto Recala

Oct. 20, 1961

FOR POLAND:

FOR PORTUGAL:

FOR THE REPUBLIC OF KOREA:

FOR THE REPUBLIC OF VIET-NAM:

FOR ROMANIA:

サン・マリノのために

サウディ・アラビアのために

セネガルのために

ソマリアのために

スペインのために

スーダンのために

スウェーデンのために

Z・プシバイシェフスキ・ヴェスルupp
スイスのために

パウル・ルューゲル

タイのために

トーゴのために

テュニジアのために

トルコのために

FOR SAN MARINO:

FOR SAUDI ARABIA:

FOR SENEGAL:

FOR SOMALIA:

FOR SPAIN:

FOR THE SUDAN:

FOR SWEDEN:

Z. PRZYBYSZEWSKI WESTRUP

FOR SWITZERLAND:

Paul RUEGGER

FOR THAILAND:

FOR TOGO:

FOR TUNISIA:

FOR TURKEY:

ウクライナ・ソヴィエト社会主義共和国のために

南アフリカ連邦のために

ソヴィエト社会主義共和国連邦のために

アラブ連合共和国のために

グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国のために

パトリック・デイン

千九百六十一年十二月十一日

アメリカ合衆国のために

H・フリーマン・マシューズ

千九百六十一年六月二十九日

上ヴォルタのために

ウルグアイのために

ヴェネズエラのために

イエメンのために

ユーゴスラヴィアのために

紛争の義務的解決選択議定書

FOR THE UKRAINIAN SOVIET SOCIALIST
REPUBLIC:

FOR THE UNION OF SOUTH AFRICA:

FOR THE UNION OF SOVIET SOCIALIST
REPUBLICS:

FOR THE UNITED ARAB REPUBLIC:

FOR THE UNITED KINGDOM OF
GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND:

Patrick Dean

December 11, 1961

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:

H. FREEMAN MATTHEWS

June 29, 1961

FOR THE UPPER VOLTA:

FOR URUGUAY:

FOR VENEZUELA:

FOR YEMEN:

FOR YUGOSLAVIA:

批准を留保して

ミラン・バルトシ

ラザール・リリッチ

Sous la réserve de ratification

Milan BARTOŠ

Lazar LILIĆ